

ズッキーニの栽培法

1 栽培のポイント

- (1) 多湿を嫌うので排水を良くします。
- (2) 風で傷まないように支柱を立てて固定します。
- (3) 人工授粉をすると、果実の形がよくなります。
- (4) 収穫の時期を逃さないようにします。
- (5) 多日照で果実の肥大がよくなります。
- (6) 低温、短日条件で雌花が多く、高温、長日条件で雄花が多くなります。
- (7) 連作は良くありません。

倉敷管内では総社市山手地区で栽培されています



2 畑の準備

- (1) 10㎡当たり、堆肥30kgと石灰1kg、有機入り化成肥料を800gを全面に施して耕します。
- (2) 幅1.8mの畝を作ります。

4 育苗

- (1) 3月下旬～4月上旬頃にトロ箱、プランターなどに5cm間隔ですじを引き、株間2cmで種を播きます。
- (2) 1cmくらい土をかけてかん水し、新聞紙をかぶせてビニールのトンネルをします。
- (3) 夜はむしろ、コモなどをかけて保温します。
- (4) 双葉が開きだしたら3号鉢に1本ずつ植え替えて、ビニールトンネル内で育苗します。
※直接鉢に2粒の種を播いて本葉1枚頃に間引いてもよいです。

5 植え付け

- (1) 霜の降りなくなった4月下旬～5月上旬ごろ、好天の日を選んで本葉3～4枚の苗を株間1mに根鉢が崩れないように植え付けます。
- (2) ウイルスに弱い品種が多いので、シルバーポリマルチなどをしてアブラムシ対策をすると良いです。

6 植え付け後の管理

(1) 植え付けてから1ヶ月くらいで配下し始める。自然の状態では形のよい果実が出来にくいので、人工

授粉してやると良いです。(ズッキーニに登録のあるホルモン剤もあるので、それを使用しても良い)

(2) 果実の着いたのを確認したら、生育の勢いを見ながら1ヶ月に1回くらいの目安で10㎡当たり1回600gの高度化成肥料をマルチをめくって株の周りや畝間にばらまき、土と混ぜます。

(3) 開花してから4~5日、長さ20cmくらいになった時、収穫します。

(4) 果実を若いうちに収穫すると、つぎの果実の生育が早くなります。

7 病害虫

(1) 病害虫ではうどんこ病、アブラムシ類等に注意します。

8 その他

山手地区では雄花の着きやすい黄色い品種を一緒に植えて、花粉を確保しています。

黄色い品種



緑の品種



[\(戻る\)](#)